

平成25年行政事業レビューシート

( 文部科学省 )

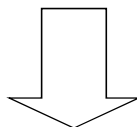
<b>事業名</b>	教員・学習に関する国際調査等		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度・未定		<b>担当課室</b>	教職員課 幼児教育課		高口 努 蝦名 喜之	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	校長や教師自身の目から見た教師及びその業績に影響を与える要素に着目し、教育制度の国際比較に必要なデータを得ること及び、幼児教育を担当する職員の資質の向上方策に係る工夫・改善事例等についての国際調査を行うこと。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	教員・教授・学習に関する国際調査や幼児教育に関する国際調査に参加し、OECD政府間会合に出席。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算		20	23.4	13	11.1
		補正予算		0	0	0	
		繰越し等		0	0	0	
	計		20	23.4	13	11.1	
	執行額		20	22.4			
執行率 (%)		100%	96%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、OECDへ調査参加費を拠出するものであり、定量的な成果目標及び成果実績を設定という考え方には馴染まないものである。		成果実績				
			達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	参加国会合への出席回数		活動実績 (当初見込み)	-	4	4	-
				( )	( 4 )	( 4 )	( 5 )
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠	本事業は、OECDへ調査参加費を拠出するものであり、単位当たりコストを積算という考え方には馴染まないものである。			
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費・委員等旅費	7.5百万円	6.7百万円				
	庁費	0.4百万円	2.4百万円				
	ユネスコ事業等拠出金	5.1百万円	2百万円				
計	13百万円	11.1百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた初の国際調査であり、データの国際比較分析により共通の問題に直面している国の政策アプローチから学ぶことが可能となる。我が国においても調査への参加が必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	OECD政府間会合に3回出席。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	OECD調査参加への拠出金については適切な執行がなされている。本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度を考慮しながら、さらなる施策の推進等に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、校長や教師自身の目から見た教師及びその業績に影響を与える要素に着目し、教育制度の国際比較に必要なデータを得ること及び幼児教育を担当する職員の資質の向上方策に係る工夫・改善事例等についての国際調査を行う事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成24年度決算において不用額が生じているが、平成25年度当初予算で既に予算の縮減を図るなど一定の見直しを実施しており、教育・学習に関する国際調査に対する拠出金であり、更なる施策の推進等に努めながら、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	0021	平成24年	0147

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省 22.4百万円	職員旅費 委員等旅費 庁費	1.1百万円 0.1百万円 1.2百万円	を含む
------------------	---------------------	----------------------------	-----

OECDが主体となって実施する「教員・学習に関する国際調査(TALIS)」や「幼児教育・保育の質の向上プロジェクト」に参加するとともに、調査に



【拠出】

OECD(経済協力開発機構) 19.9百万円
---------------------------

教員・学習に関する国際調査(TALIS)、幼児教育・保育の質の向上プロジェクトを実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	ユネスコ事業等拠出金	19.9			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	経済協力開発機構(OECD)	教員・教授・学習に関する国際調査(TALIS)、幼児教育・保育の質の向上プロジェクトの実施	19.9	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					